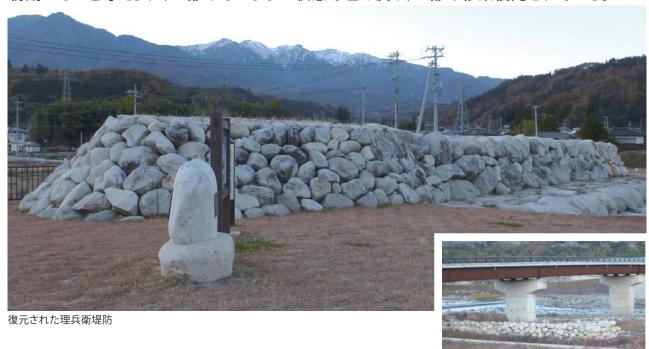


りへえていぼう

理兵衛堤防

サ川村にある、松村理兵衛忠欣、常邑、忠良の三代にわたって天竜川に築かれた堤防。 1808 (文化5) 年に完成。天竜川および前沢川の大水のたびに決壊し、そのつど補強や増築を繰り返してきた。 2010 (平成22) 年、護岸工事の際の調査で、前沢川の堆積物の上に造られた石堤が発見された。理兵衛堤防の 初期のものと考えられ、一部はそのままの状態で埋め戻し、一部は移築復元されている。



天の中川橋と現在の石堤



「天竜功業明神」

天竜川と前沢川が合流するこの地点は、増水時に本川の水流の勢い に支川の水流が跳ね返されて逆流、上流側の農地が水浸しになる水 害常襲地帯だった。洪水のたびに大きな被害を受け、住民は高台へ の移住を余儀なくされていた。

堤防を作った忠欣・常邑・忠良の親子三代を崇めた呼び名。



information

□ アクセス 松川ICから5km 車→10分

□所在地 中川村片桐



